



15

創立15周年記念イベント

第2回冬季地区大会

2/27 ~ 28 (アルペン競技)

3/13 (スピードスケート、フィギュアスケート、フロアホッケー)

「2010年第2回スペシャルオリンピックス日本・東京 冬季地区大会」が開催されました。

アルペンスキーは、2月27日(土) ~ 28日(日)に群馬県のホワイトワールド尾瀬岩鞍スキー場で、スピードスケート、フィギュアスケート、フロアホッケーは、3月13日(土)に江戸川区スポーツランドと江戸川区総合体育館でそれぞれの競技が行われました。

アルペンスキーはSON東京としては初めての地区大会で、SON群馬設立準備委員会のご協力の下、東京と群馬のアスリート35名が参加しました。

スピードスケートには神奈川、山梨からのアスリートを含めて30名、フィギュアスケートには神奈川のアスリートを含めて13名、フロアホッケーには山梨、埼玉、長野のアスリートを含めて94名がエントリーして、日ごろの練習の成果を競いました。なお、フィギュアスケートは、前は通常トレーニングプログラムを実施公開しましたが、今回はコンパルソリーとフリーの2種目の競技を実施。応援のファミリー、ボランティアから大きな拍手がわきました。



ゲレンデで、全員集合!

るし、表彰式では笑顔で健闘を称え合いました。

初めての開催で至らない点多々ありましたが、たくさんの方々に応援をしていただきました。大きな事故・ケガそして失格者もなく無事に終了できましたことに、心より感謝申し上げます。 競技委員長:小松順子

スキー、楽しかった。メダルをもらった。うれしかった。またスキーをしたい。

アスリート:齋藤 博

スキープログラムに参加して8年。初めは止まることも出来なかったのがやっと左右に曲がるようになり、今回初めて大会に参加して、大会がたくさんの方々に支えられていることに驚き、感謝でした。真剣な顔で滑る博に、コーチをはじめ多くの方が応援して下さりゴール。表彰台での嬉しそうな顔。帰りのバスでは、何度もリュックからメダルを出して眺めていました。参加して本当に良かったです。 ファミリー:齋藤 いく代

私は初級女子のコーチでありながら、どのアスリートの滑りにも、それぞれが「自己の最善」を出し切れるようにとハラハラし、興奮し、感動をもらいました。表彰式でも宿に帰ってからも、喜びや悔しさの表現は十人十色でしたが、それぞれが何かを感じているようでした。アスリートにとって、日頃の成果が形として認められる機会の意義も感じました。

SO にくると、私自身もいろいろな人に支えられて、自分があることに気づかされます。実は甘えることが苦手な私ですが、SO に関わってからは「苦手な部分は助けてもらって

悪くないんだなあ」と感じられるようになってきました!

私自身が、「学び」「楽しみ」「成長」できた3日間でした。

ボランティアコーチ:古橋真紀子



緊張のスタート!(中級GSL)



練習の成果を発揮!(初級GSL)



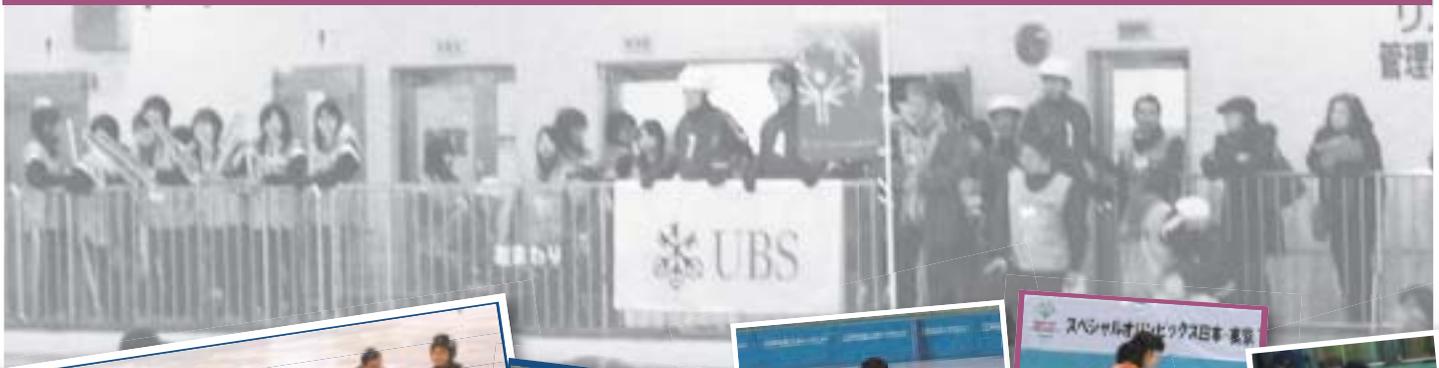
うれしい表彰式(上級GSL)

●アルペン競技

昨年春から準備を始め、日が近づくとともにスタッフ間のメールのやり取りが1日に20~30通、目まぐるしい準備の中で、一番の心配ごとはお天気。2日間とも大会直前まで雨が降り、ヒヤヒヤさせられましたが、アスリートパワーに雨はピタッと止み、太陽が顔を出しました。改めて、アスリートの底力を実感!

また競技でも、合宿中はポール練習ができず、初めて見るコースにためらうのではと心配されましたが、羨ましいぐらい本番に強いです。全員完走!素晴らしいタイムでゴー

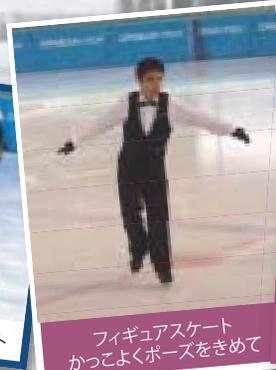
●スピードスケート・フィギュアスケート



スピードスケート スタート



スピードスケート デッドヒート

フィギュアスケート
かってよくポーズをきめてフィギュアスケート
音楽にのせてフィギュアスケート
コンパレソニー

スピードスケートは、55m、111m、333m、500m、1000mの5種目。1000mでは東京・山梨・神奈川のアスリートがデッドヒートを展開、会場は熱い声援に包まれました。

フィギュアスケートは、コンパレソニー（決められたエレメントを滑る）と音楽に合わせて演技するフリースタイルの2種目。すてきなコスチュームで一生懸命に演技するアスリートたちに大きな拍手が送られました。

「実力、発揮できた！」とスピードスケートに出場した東京のアスリート、「会場が違うので

心配したのですが、頑張りました」と山梨のファミリー。大勢のボランティア協力は、愛国学園衛生看護科の2年生。看護師をめざす学生たちだけに、アスリートケアも笑顔でフレンドリー。「初めての経験でしたが、自然にすれば、自然に接してくれることがわかりました」「一緒にいて楽しかったです」

フィギュアスケートは、東京では初めて実施した競技会です。審判員を務めていただいた東京都スケート連盟の方々には「練習より、

本番のほうがよかったです」「あがらずに、しっかり滑っていました」「スケートをツールに、成長していければいいですね」。

主任コーチで競技委員長の杉田秀男さんは「大丈夫かと心配な人もいたのですが、みんなよかったですよ。楽しんで滑っていたのが一番。私が関係して2シーズン目ですが、アスリートが上手になり、サポートしていただく方々も増えました。あと2年ぐらいしたら、外の試合に出場できる人が出てくると思います」

●フロアホッケー



個人スキルコンテスト



東京×埼玉の熱戦



ディビジョン1で2位の東京チーム(ウインターチャレンジャーズ)

フロアホッケーは、SON東京、SON長野、SON山梨、SON埼玉、SON神奈川の94名のアスリートが参加し、日頃の練習の成果を競い合いました。

準備運動は、「エアロビクス」。若いコーチのはつらつとした指導にアスリートは、気分も身体も大いに盛り上がりました。チーム競技は、A・Bコートで進行し、真ん中では個人スキルコンテストが行われました。チーム競技では、白熱した展開に、お父さん方が夢中

になり熱のこもった声援が飛び交いました。

昼休みには、急遽、コーチと見学に来てくれた小学生のバスケットボールチーム「きさらぎジュニア」とのシュート体験教室が行われ、小学生も「とっても楽しかった」と感想を述べてくれました。

大会の結果は、ディビジョン2が、1位：SON山梨チーム、2位：SON埼玉チーム、3位：SON神奈川とSON東京の合同チーム。ディビジョン1が、1位：SON長野Aチーム、2位：SON東



試合を終えて、記念写真

京チーム、3位：SON長野Bチームでした。

15周年記念行事は、第2回冬季地区大会で無事に終了いたしました。ご協力・ご協賛をいただきました関係者の方々に改めまして御礼申し上げます。ありがとうございました。

2010年度 SO日本・東京定期総会 開催



企業・団体の方々に表彰状を授与

認定 NPO 法人 SON 東京の 2010 年度定期総会が、3月6日(土)午後、東京 YMCA 東陽町センター・視聴覚室で開催されました。

第1部は、昨年度にご協賛・ご協力いただいた企業・団体の方々に感謝の気持ちをこめて、感謝状を贈呈いたしました。

第2部は2010年度の定期総会です。池

田理事長のあいさつ
の後、日常活動に加
えて、15周年記念イ
ベントが種々行われ
た2009年度の事業
報告及び決算報告、
「活動の充実とアス

リート
の拡大に向けた基盤の整備」を引き
続き行うとの決意をこめた2010年度の活
動方針案、活動及び事業計画案並びに予算
書案、さらに定款改正などについて審議を
行い、すべてが承認されました。また、第
3部では退任委員長への感謝状授与などが
行われました。



定期総会開催

WORKING ATHLETES

～働くアスリートたち～

第8回 加瀬 光さん(24歳)

景気低迷の中で、この冬、ヒートテック・ブームを起こした「ユニクロ」は、障害者雇用率も8%超とダントツの首位を独走中。スペシャルオリンピックスの活動も支援して下さっています。今回は、アメ横に近い、上野の繁華街にある「ABAB 上野店」で働く加瀬光さんを訪ねました。

◆得意な仕事はハンギング

新製品のプリント T シャツでにこやかに登場した加瀬さんは、現在のお店で働いて3年。商品の袋むきとハンギングを担当しています。「買い物をしているユニクロで働きたかった。就職が決まったとき、お母さんが喜んでくれました。一生懸命、頑張っています」

洋服を1つずつビニール袋から取り出し、ハンガーにかけ……と、作業はとても素早い!「最初は教えてもらいました。気をつけているのは、みんなが品出しをしやすいように、袋むきをすること。得意な仕事は洋服のハンギングです」

上司のボトムスアドバイザー、高野ゆう子さんは、ABAB 上野店にきて2年。ふたりの間で、笑顔があふれます。



高橋さん、加瀬さん、高野さん(左から)

「ここのお店では、加瀬さんのほうが先輩です。毎日の目標はしっかりクリアして、お店に欠かせないチームの仲間ですね。最初のころはむずかしかった袋むきも、今はきれいにできるようになっています。頑張っていますよ」

勤務は月曜から金曜の8時15分から15時15分まで。連絡帳が毎日、家庭と行き来しています。

「今日はハンギングで頑張りましたとか、その日にあったことなどを記しています。加瀬さんが得意なのは、新しく入った人とすぐ友達になれること、人の名前をすぐ覚えること。バックルームに行くたびに、みんなが加瀬さんに声をかけていますが、ほがらかで明るいのはとてもいいところです。可能性を秘めていますね。品出しも一緒にできるようになると思います」

◆新しい仕事にもチャレンジを!

「1店舗に1人、障害者の採用」を掲げる

ユニクロでは、多くの知的発達障害の人たちが働いています。ここが5店舗目になる店長の高橋幸二さんは、これまでも障害のある人たちとともに仕事をしてきました。

「基本的には意識しないようにしています。まわりのスタッフと同じように、ほめ

るときはほめ、注意するときは注意しています。そうしないと、本人のためによくないのではと思います。特別な存在ではない、仕事のパートナーだと思っています。社会人として通用する人材になってほしいですね」

加瀬さんの仕事ぶりについて。

「安定していますね。休まないし、仕事の質もスピードも、みんなと差がありません。本人の可能性や成長につながると思いますので、どんどん新しい仕事にチャレンジしてほしいと思います」

加瀬さんの当面の夢は、今年の夏季ナショナルゲーム・大阪大会にサッカーで出場すること。「仕事は楽しい。働き続けたい」と即答。そして「違う仕事もしてみたい」と。期待しています!

(サッカープログラムに参加)



作業中



トライアングル
・ストーリー



vol.16

「サッカープログラム」

「蹴る・うまくなる・勝つ」楽しみを!

ファミリー:長谷部 厚

審判の試合終了の笛をいまや遅しと、ファミリー達が固唾を呑んでピッチを見守っています。そして「試合・終了!」「5対3でSON東京の勝ち!」

2008年10月19日(日) 午前10時50分、江戸川陸上競技場を舞台にサッカー(杉並)(以下「杉並」)は、公式戦(第1回全日本知的障害児・者サッカー競技会)初勝利です。快晴の空の下、アスリート以上にファミリー達の歓声が爆発しています。「杉並」への参加者が少しずつ増え、アスリートが成長(心身及びサッカー技術)することにより結果が出ました。何と!この後2連勝し、「杉並」は参加したディビジョンで見事優勝しました。この優勝にアスリートたちは自分たちのプレーに対する自信を持ち始めていました。

思えば、5年前に初めて「杉並」に参加した頃は、数人のアスリートしかいませんでした。転機は4年前。上井草SCでの安田さん(現副理事長)との10年ぶりの再会を通じて、サッカーの活動等の話をするうちに自分自身が行動しなければ何も変化しないと気



長谷部 秀輔さん

づき、以後、自分の可能な範囲でプログラム日程のメール送信、世田谷区へのグラウンド探しの拡大等の活動を始めました。

ファミリーからの提案を受けて始めた忘年会を皮切りに、今では春の花見、夏の箱根の合宿(ファミリーの会社の保養所利用)及びリーグ試合観戦等のイベントが加わり、プログラム以外でも活動の範囲が広がってきました。

これからも園部コーチを中心にファミリー・アスリート・ボランティア一体となって、「蹴る楽しみ、うまくなる楽しみ、勝つ楽しみ」の実現に邁進していききたいと思います。

最後にアスリートである秀輔から一言。「サッカーは、楽しいよ! 園部コーチにはいつも指導してもらってありがとうございます。11月のナショナルゲーム・大阪の参加がとても楽しみです。大会でメッシ(FCバルセロナの世界No.1選手)のように活躍するのが夢です」

主任コーチ:園部雄一

SOに係わるようになって、すでに12年。今では生活の一部?といえるまでになっています。現在サッカープログラムは、江東と杉並という2つの会場で実施していますが、同じ日に連続してトレーニングがあっても、まったく気にならなくなっています。

サッカープログラムは長い間、主任コーチとマネージャー、SP委員まで私1人で務めてきました。それが2年くらい前から長谷部さんがマネージャーを引き受けてくれるようになり、お陰で開催回数も増え、多くのアスリートが参加できるようになりました。トレーニングの質も充実し、以前は団子状態になってボールを追いかけていたアスリートが、ポジションを見極め、周りを見ながらパスを出す...本来のサッカーらしい動きができるようになってきました。コーチ冥利につきますね。

むろん全員がそうした動きができるわけではありませんし、秀輔にとってはまだ多少難しい要求みたい。ただ、秀輔もプログラムに参加するようになって5年、最近はほとんど休まずトレーニングに参加しているので、決して不可能ではないと思っています。

また、今年のナショナルゲームには東京もなんとかチームで出場できるよう頑張ろう!とアスリート、ファミリー、ボランティア、全員の意気も高揚しているので、それをバネにより多くのアスリートがチームプレーできるよう、一丸となってトレーニングに励みます。注目しててください。



園部主任コーチ

<今後の予定>

- 2010年 6月20日(日) 夏季地区大会
- 2010年 6月26日(土) 夏季地区大会・ボウリング
- 2010年 6月27日(日) 夏季地区大会・体操競技

事務局からのお知らせ

事務局の竹村京子さんが、今年3月で職員としての勤務から離れます。8年間、たいへんお世話になりました。今後は、週2回のパート勤務となりますので、皆様にはご不便をおかけしますが、引き続きよろしく願います。

ヤナセはスペシャルオリンピックスを
応援しています。

クルマはつくらない。クルマのある人生をつくらせている。
株式会社ヤナセ www.yanase.co.jp

SON東京オフィシャルスポンサー



UBS

UBSグループ

法人・団体・個人会員募集中

●正会員 入会金 5,000円・年会費 5,000円

●賛助会員 (一口) 年3,000円~

郵便振込口座: 00140-1-723232

※法人団体会員については、事務局までお問い合わせ下さい。

SSKR NEWS LETTER とらいあんぐる vol.50
発行所: 〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会
編集元: 認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京
編集人: 池田 朝彦
編集スタッフ: SON東京広報委員会
定価: 100円(代金は会費に含まれています)

Update

登録アスリート数: 1,192名

正会員数: 1,049名

(2010年2月末現在)



Special
Olympics
Nippon
Tokyo

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京
〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL: 03-3615-5569
FAX: 03-3615-5581
E-mail: office@son-tokyo.or.jp
http://www.son-tokyo.or.jp